

# かがやく

ハーモニーひたちなか

第23号

2017.9発行

編集/発行

ハーモニーひたちなか  
ひたちなか市女性生活課

## パパも子育てに参加！

ひたちなか市ヘルスケアセンターで開催されているプレパパプレママ教室を平成29年6月24日に取材しました。近々、お父さん、お母さんになる参加者に、子育て世代の男女共同参画に関する思いを聞かせてもらいました。



▲ずっしり重い妊婦体験



▲保健師から話を聞く参加者

▲ドキドキ沐浴初体験

会場には肩を寄せ合う16組の夫婦が集まりました。今回の教室は、DVDを2本観て保健師の話聞き、その後4組に分かれて重さ3kgの赤ちゃん人形(擬似生後1か月児)を使つての沐浴体験を行いました。各組、パパママのどちらかが体験者になりましたが、圧倒的に、パパが多かったです。沐浴のあとは、パパの妊婦体験。パパは胸に重いブラを付け、腹部には下半身がより重く厚いプロテクターを装着し、妊娠後期の姿になって悪戦苦闘していました。

模擬妊婦を体験した参加者に感想を聞くと、ずっしり重い、立ち上がるのも大変、下が見えない、特に階段等が不安定、という言葉が返ってきました。頭の中のイメージだけではなく、体験して妊婦の大変さを理解する男性が増えるのは女性にとって喜ばしいこと。会場を出てきた何組かに声をかけて質問に(主にパパに)答えていただきました。



〈裏面に続く〉

## フレパパ・フレママ教室参加者の声

どんなきっかけでこの教室に参加しましたか。「初めてなので」「(第二子だけ) 忘れていたこともあるだろうから」育児休暇は取りますか。「制度はあるけど取れない」「早く帰れても休暇は取れない」「育休を取った先輩がいない」という答えが多く、「育休は取れるし取った先輩もいるけれど自分は親がいるから働く」という答えもありました。

子どもが病気になったときなどに頼るのは、の答えは「近くに住む親」が多く、ファミリーサポー

トセンターなどの公的支援の認知度は今一つ。

夫婦共に子育てや家事などを助け合っている様子が覗えて頼もしく思えました。そういう家庭をもっと支えられる社会環境が整っていればと思います。

子育てをしやすい地域は誰にとっても住みやすい社会になるはずだから。



## 平成 29 年度

## ハーモニーひたちなか総会開催

日にち 5月16日(火) ところ 男女共同参画センター

参加13団体から27名の出席により総会が開催されました。初めに、



武田裕子会長よりあいさつがあり、「任期中のテーマのひとつが『防災を通して男女共同参画を考える』でしたので、東日本大震災の時に福島県で避難所運営に携わった天野和彦氏の講義は、会場が満席になったこともあり、とても記憶に残るものでした。さらに会員の皆様方のご協力により、ハーモニーフェスタや写真展、茶話会、水戸市・牛久市との交流会などの啓発事業を無事に開催することができ、充実した4年間を送ることができました。これからも、男女共同参画のまちづくりが広がるように協力していきたいです」と述べられました。

続いて、前年度の事業報告と決算報告及び今年度の事業計画と予算が承認され、また、今年度は役員改選の年なので、菅原佳江新会長のほか、19名の新役員が選出されました。議事終了後には、茨城大学全学教育機構の佐川明美先生より、「社会で活かせる資格(know-how)と資質」をテーマに、講話をいただきま

した。

佐川先生は、ご自身の経験を事例として「仕事と資格」、「転職と資格」、「求められる資格」の3つの項目に分けて話されました。

「仕事と資格」…仕事はやりがいがあり楽しく思えることが基本だ。その仕事を手に入れるためには資格があった方がよい。しかし、新卒の場合はあまり重視されない。むしろ元気があって何かやってくれそうな人に人事は将来性を期待する。

「転職と資格」…入社3年目で転職を考え始める人が多い。理由としては、新卒で入社した会社が思っていた環境ではなかった、やりたい仕事ではなかったなど、就職時とのギャップがあるため、「なるべく早いうちに転職したほうが有利」と考える若者が多い。2009年～2013年の比較では、20代後半以降の転職割合が増加しており、転職や働き方に対する考え方が変わってきたとも考えられる。

「求められる資質」…企業と学生の意識のギャップがある。経済産業省から提唱されている「社会人基礎力」は、前に踏み出す力(アクション)・考え抜く力(シンキング)・チームで働く力(チームワーク)

の3つの能力と12の要素で成り立っており、文部科学省も「これからの時代に求められる資質・能力」を提示している。

講師ご自身も資格を取得し転職をされており、ご自身のキャリアステージとライフイベントを参考に語ってくださいました。また、地域や社会と関わり、様々な職業に出会い、自分の資質を見出し磨くことが自立につながっていく。前向きなチャレンジで、学びの連続性が確保されることが重要である、とも話されました。



参加された方からは、資格を取ることは大切である。資格取得には家族の協力も必要である。何歳になってもチャレンジしたい。将来を見据え、強い判断力とやる気が必要と感じた。子どもや孫の将来を考え、公的資格取得の大切さについて伝えていきたい。などの感想が寄せられました。



## ～ 新会長挨拶 ～

この度ハーモニーひたちなか会長に就任いたしました。

昨今、女性活躍推進法の施行や働き方改革等により、女性が職業生活の場で活躍していることがメディアで話題となっています。女性が更に様々な場で活躍していくためには、ハーモニーひたちなが目指している男女共同参画社会の形成が重要と考えております。

ハーモニーひたちなか副会長や役員として経験したことを活かし、会員の皆様と協力してハーモニーひたちなかの更なる発展に努力をしていきます。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 菅原 佳江



## ハーモニーひたちなか構成団体

WING

おやこ劇場ゆめひろば

ひたちなか商工会議所女性会

新日本婦人の会ひたちなか支部

パートナーシップ・イコール会

ひたちなか市更生保護女性の会

わだちの会

生活クラブ生協まち・ひたちなか

火曜会

青春会

レッツ・ビギン

さわやかウォーキング会

いきいきヘルス体操クラブ



# 男女共同参画社会はご近所とのつながりから・・・

今回、弥生住宅班3組の3人の方とお会いし、ご近所のつながりを大切にして、楽しく過ごされているお話を聞くことができました。紹介したいと思います。

以前はお葬式を自宅でやり、炊き出しなどをみんなでしていく中で、年代もほぼ同じということもあって親しくなり、食事会を持ち廻りですようになりました。それが今でも続いています。

常会費は組長さんが、毎月1軒ずつ訪ね集金しています。その時に何気ないお話を交わし、雰囲気や状況を感じとっています。また、新しく入られた方には、困り事があるかなどを聞いたりもしています。回覧板も手渡しして、読んだらはんこを押してもらっています。

常会費を少し多く集めて積立てて、日帰り旅行などの

親睦会を行っています。親睦会にはお子さんも含め家族で参加し、趣味を取り入れながら皆さんで楽しんでいきます。その時に撮った写真をスクラップにしてまとめたりもしています。

最近はこの常会では、回覧板をポストにいれ常会費は半年分や一年分をまとめて集めていると聞きますが、弥生住宅班3組の方は、誰も面倒だという人はいないそうです。揉め事も今まで一度もなかったとも言います。お子さんからお年寄りまで、何気なくみんながつながり合っており、まちづくりができている…そんな印象を受けました。

## お知らせ

### ハーモニー写真展に参加しませんか

男女が家庭、職場、地域などで、性別にこだわることなくいきいきと活動する姿、男女共同参画をイメージする写真を募集しています。応募いただいた写真はハーモニーフェスタ2017の会場と男女共同参画センターで展示します。

**○募集内容** 作品は自作で未発表のもの。肖像権・プライバシー等問題のないものに限り  
ます。

サービスサイズ(Lサイズ)から六切までのサイズでカラー、モノクロいずれも可。

**○応募方法** プリントした写真を郵送又はデータをメールで送信(返却できません)。

※メールで応募される方は、メールの件名に「ハーモニー写真展」と入力し送信してください。また、不着防止のため、応募先まで連絡をいただきますようお願いいたします。

**○応募先** 男女共同参画センター(下記参照)

**○応募締切** 9月29日(金)

### 11月は男女共同参画強調月間です

#### ○ハーモニーフェスタ 2017

日時: 11/4(土) 午前9時から午後3時30分

場所: ひたちなか市総合体育館サブアリーナ

内容: 各団体による展示・発表など

#### ○ハーモニーひたちなかフォーラム

日時: 11/26(日) 午後1時30分から

場所: ワークプラザ勝田大会議室

内容: 男女共同参画推進事業所表彰

男女共同参画キャッチフレーズ表彰

講演会

「楽しくらくらく時短家事

～欲しかった1時間のゆとりを手に入れる～」

講師: 本間朝子さん

(知的家事プロデューサー)

応募・問い合わせは男女共同参画センターまで

〒312-0018 ひたちなか市笹野町2丁目8番2号

TEL&FAX 029-354-0167 E-mail danjo282@juno.ocn.ne.jp

編集後記

「目から鱗」な体験の話: 先日エニアグラム性格診断という心理テストを受けてみました。50を優に超える質問に回答する際、繰り返し「20歳の自分になって」と要求されました。自己の本質を分析する為ですが、何十年前の自分の回答を必死にたぐる努力をしていたら、「今の私ならこうは考えない。こうは振舞わない」と反発する答えがあるのです。新鮮な驚きでした。私は変わったのです。それは経験やスキルが増えて成長した、というよりも「なりたて自分となる為に意図的に変えてきた姿」だったのです。願った自分に近づいた姿を自覚して、初めて頑張ってきた私をちよっと褒めてあげたくなりました。だからね、続けていけば変えられるものってきつとあると信じてみよう。キーワードは「あきらめない!」

(S・M)